

「人財」でお困りなら

株式会社
mi ミヨシ・ロジスティクス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

題字制作：株式会社クライムエヌシーテ

KANAKEI

かながわ経済新聞

低価格で会計・経理記帳を代行!

月額 **980** 円の **経理代行**

無料相談実施中!

株式会社けいり ☎ 0120-45-0510

2016年 1月号 Vol.025

● 地域密着、豆腐の移動販売で成長 (5面) ● 中小向けマイナンバー対応ソフト開発

「少子高齢化」の影

「少子高齢化」「生産年齢人口の低下」という言葉をよく聞かれます。これが今後、われわれの企業活動に、どのような状況を生み出していくのかを考えると、重要な結論を言えます。と、あまり喜ばしいことではありません。

少子高齢化についてですが、確かに、「高齢化」は、とても良いことです。平均寿命が延びて、日本は先進国でも類をみない長寿国になろうとしており、いつまでも健康で暮らし働けることは素晴らしいです。

とはいえ、「少子化」になると話は違います。生まれてくる人が少ないことは、



少子高齢化の影響は?

今回からシリーズで「企業の人材確保のあり方」をテーマにお話しさせていただきます。第1回目は日本の人口推移について触れていきます。

生産に携わる人、働き手の減少を意味します。その結果、自然と経済がしほみ、状況はさらに悪くなります。

生産年齢人口(15~64歳)が少なくなると、現在の経済力を維持することができません。これが今の日本で起きている現実です。

吉田英訓の

着眼大局 着手小局

～人と企業～

弊社(ミヨシ・ロジスティクス)は、製造業における請負・派遣業を手掛けていますが、まさに、人材確保のあり方について常に頭を悩ませています。

こうしたなかで、次回から「人材確保」に対し、弊社の具体例を交えながら、皆さまのご参考になるような話を進めていきたいと思っております。

よろしくお願ひします。

(ミヨシ・ロジスティクス代表取締役/南西フォールム委員長)

「少子高齢化」の影

「少子高齢化」「生産年齢人口の低下」という言葉をよく聞かれます。これが今後、われわれの企業活動に、どのような状況を生み出していくのかを考えると、重要な結論を言えます。と、あまり喜ばしいことではありません。

かながわ経済新聞
2016年1月号より

吉田英訓の
記事連載がスタートしました。

インタビュー

● ロボタクシー、藤沢で実証へ (1面)